

戦後74年—新たな世代の交流が始まる ぞおう・パラオ子ども国際交流事業

8月6日から12日までの7日間、蔵王町内の中学2年生・3年生11人がパラオ共和国を訪問しました。この事業は、蔵王町が東京オリンピックでのパラオ共和国ホストタウンに選定され、併せて青少年の交流についても合意締結したことに伴い実施されたものです。

到着したパラオ空港では、今年2月に蔵王町を訪れたミューズ小学校の子どもたちが出迎えてくれ、感動の再会となりました。滞在中はパラオ教育省をはじめとする多くの皆さんからのご協力で、大統領への表敬訪問、国会議事堂や裁判所の見学、小学校での交流活動、地元のお母さんが作る家庭料理でのランチなど、観光旅行ではできない貴重な体験をさせていただきました。



ミューズ小学校8年生(日本で中学2年生)がお出迎え。この中の10人が今年2月に蔵王町を訪れました。



ミューズ小学校とペリリユー小学校で、「よさこい」を披露。ペリリユー小学校では一緒に踊りを楽しみました。「屈伸がタイヘンネ〜」と、パラオの子の感想。



パラオでよく食べられる「タロイモ」。甘さを抑えたサツマイモのような穀物です。蒸してすり潰し、ココナッツを混ぜた伝統的なおやつを作りました。



村上綾音さんによる、蔵王太鼓披露。迫力ある和太鼓の演奏に、大歓声が上がりました。



ソフトボール試合。ZAOチーム対パラオチームは、13対8でZAOチームの勝利!



果物や野菜などのイラストを描き、日本語、パラオ語、英語での呼び方を発表。「きゅうり」「桃」などパラオで使われている日本語も多くありました。



ココナッツの葉っぱで装飾品作り。



ココナッツの皮むき後、南の国ならではのココナッツジュースを美食。スポーツドリンクを薄めた甘さひかえめの、やさしい味わいでした。



ココナッツの中身をくり抜く体験